

平成 3 0 年

亀山市教育委員会第 1 0 回臨時会会議録

## 亀山市教育委員会第10回臨時会会議録

### 1. 日 時

平成30年12月7日（金） 午後4時開会

### 2. 場 所

亀山市役所本庁舎3階 第3会議室

### 3. 出席委員

教育長	服 部 裕
1番委員	井 上 恭 司
3番委員	宮 村 由 久
4番委員	太 田 淳 子

### 4. 欠席委員

2番委員	大 萱 宗 靖
------	---------

### 5. 議事参与者

教育部長	草 川 吉 次
教育総務課長（以下総務課長という。）	原 田 和 伸
参事（兼）生涯学習課長（以下参事生課長という。）	亀 山 隆
図書館長	井 上 香代子
教育総務課主幹（兼）教育総務グループリーダー（書記）	草 川 正 富
教育総務課教育総務グループ主査（書記）	西 口 幸 伸

### 6. 会議録署名者指名

3番委員（宮 村 由 久 委員）  
4番委員（太 田 淳 子 委員）

### 7. 議事事項

教育長 議案第37号「人事案件について」を上程し、事務局の説明を  
求める。

教育部長 議案第37号「人事案件について」は、人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第38条の規定に基づき、議決を求める。

教育長 議案第37号は、人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書に基づき、非公開に当たるので各委員に諮る。非公開としてよいか。

(全委員異議なし)

教育長 議案第37号「人事案件について」は非公開とする。関係職員以外は退室を願う。

(関係職員以外退室)

《非公開》

(議案第37号は可決される。)

(退室した職員入室)

## 8. 協議事項

教育長 協議事項1「亀山市立図書館基本設計について」説明を求める。

参事生課長 亀山市立図書館基本設計につきまして、今般成果品が示されましたので、御説明を申し上げます。

この基本設計は、亀山駅周辺地区・2ブロック市街地再開発準備会が発注し、この11月20日に成果品として準備会に納められたことから、図書館関連部分を抜粋し、着色など若干の修正を行ったものをお示ししています。

資料の順に説明しますが、これまでのご意見が反映されているかどうかと言った視点で再確認をお願いします。

まず、外観のイメージですが、水平のラインを強調した大きな軒と駅に面した南側を硝子張りとするデザインとしています。これは、駅前から、特に夜間に館内が見通せることで常に本と人の動きを外部に見せて駅前のにぎわいと一体感を図るものです。

裏面の館内パース図は3階の開架エリアを示したのですが、書架の配列については図書館整備推進委員会でもゆったりとした空間を創出するようにとの意見をいただいております、実施設計段階で改めて検討いたしますので、完成時にはこのイメージとはかなり違うものになると考えています。

基本計画については、従前に説明しましたとおりですので、省略します。

次に、設計コンセプトにつきましては、先般の教育委員会において「モノ・コトが集う」という表現や基本理念を踏まえて分かりやすい表現で示すようにとのご意見をいただきましたので、これを踏まえて、基本理念と併せて本から始まる「かめやまブックステーション」という文に修正されています。

施設構成・配置計画については、地階の機械室などを含めて延床面積がおおむね3,000㎡、3階建て一部4階の構成としています。

なお、図書館整備基本計画に示された新図書館の蔵書数24万冊は、図書館整備推進委員会において将来的な目標数として、この冊数に固執することなく、ゆったりとした空間の確保と利便性を優先すべきとのご意見をいただきましたことから、まずはこれらの条件に見合った冊数で必要面積の目安を算出しています。

次に、各階の平面図です。

これは、11月8日の図書館整備推進委員会での意見や、機械室など地階分により3,000㎡から増加した面積調整を亀山駅周辺地区・2ブロック市街地再開発準備会側に伝えて、前回お示しのものから修正を行なったもので、着色は6ページのゾーニング図の色とあわせております。

まず、1階ですが、中央に階段を設けて図書館の立体構造を一体的に利用できる配慮がなされています。図示していませんがエントランスロビー・郷土資料コーナーの上部は吹き抜けとしています。なお、レファレンスカウンターは、郷土資料との一体性を勘案して1階を想定しています。

2階については、児童・親子のスペースを軸にティーンズコーナーと一般開架を並列的に配置します。また、先述のとおりエントランスロビーと郷土資料コーナーの上部が吹き抜けとなっています。

3階は、先ほど申しあげましたように、ゆったりとした開架スペースを基本としてこれにグループ学習室と図書を集密させて配架する公開書庫、閉架書庫が設けられています。

閉架書庫は自動書架システムではなく、通常の手動による集密

書架による対応を想定して必要面積を確保しています。

4階は、公開書庫と閲覧席を配するものです。また、3階の閉架書庫の上部は大きく吹き抜けとして、将来的な蔵書の増加にも対応できる空間を確保しています。

最後に、地階は図書館北側の居住域まで地下を広げて駐車場とし、このうちのロビーや機械室、防災用備品などの収蔵スペースが図書館の床面積に含まれています。

これらと各階の床面積を合計して、おおむね3,000㎡となります。

なお、現段階では、この基本設計に基づく保留床の購入に必要な費用の概算作業が途上ですので、保留床の購入費用と併せて図書館システムの構築や備品購入費、駐車場の不足分の確保など全体の事業費について、全庁的に調整していきたいと考えています。

今後、この作業を進めていくに当たって、事業者である亀山駅周辺地区・2ブロック市街地再開発準備会や庁内での調整が必要となりますことから、平面配置や配架と言った個々のコーナーなどの詳細部分につきましては、実施設計段階で改めて細密な検討を行って確定させていくものです。

この基本設計に沿って図書館整備事業を進めることについて、ご承認をいただきたく存じますので、ご審議のほどお願い申し上げます。

教育長 これらの資料は、あくまでも亀山駅周辺地区・2ブロック市街地再開発準備会に提出されたものである。教育委員会としては、その保留床を購入して図書館を建設するよう準備を進めてきた。それを踏まえて、できる限り御意見、御感想をお願いしたい。

宮村委員 保留床の説明をもう一度お願いしたい。

参事生課長 まず基本としましては、このビル全体は市が建てるものではなく、準備会が建てるものです。その図書館部分を市が買い取るようになっており、保留床と言います。

太田委員 5ページの施設規模の考え方で駐車場の台数は50台と決まっているのか。想定蔵書数が21万冊に変化している。今までの資料の24万冊との矛盾にはどう対応していくのか。7ページで読書活動の「こども」は、「子ども」と漢字に修正する方がよい。

参事生課長　　まず、駐車場50台は地下のみであり、整備基本計画では90台という数値もあり、不足分は隣接地で確保します。次に、24万冊の蔵書数ですが、基本計画ではその数値を明記しています。これは将来的な目標であり、変わることはありません。ただ、この数値に固執すると、計画として運用しにくいものとなりますので、将来的な増加を見越して、当面は20から21万冊程度でスタートを目指すと説明していきます。

また、7ページの「こども」は、準備会に連絡し、「子ども」に修正します。

太田委員　　7ページの「親子・児童機能を中心としたこども」の部分も「子ども」と漢字でお願いしたい。

参事生課長　　修正します。

太田委員　　24万冊の件は、ほかに一般に配布されている資料もあり、つじつまが合うように周知いただきたい。

参事生課長　　24万冊の蔵書の件は、全戸配布の資料などで新しい図書館の方針としてしっかりと周知していきます。

教育長　　ニュースレターは限られた者しか持っていないのでは。

参事生課長　　11月のワークショップ参加者と図書館の来館者が、ニュースレターを持っています。

教育部長　　ホームページでも掲載されているのでは。

参事生課長　　ホームページでもニュースレターは掲載されています。

教育長　　広報での周知の予定はあるのか。

参事生課長　　まず議会に提示した後に、様々な手段で周知することを考えています。現段階では、市の広報で周知する予定です。

太田委員　　駐車場に関して、地下以外の周辺の部分は、教育委員会の管轄ではないが、どのようになっていくのか。

参事生課長　　現時点で明確な結論が出ていません。しかし、所管課としては50台では不足すると認識していますので、何らかの形で確保していただく予定です。

宮村委員　　5ページの表の見方であるが、実績値は現在の図書館に当てはめたものなのか。その実績値で見ていくと、必要面積が775から900㎡までであり、今回の設計では900㎡となったということか。

参事生課長　　この表は、どの程度床面積を確保するかを算出するための表で

あり、本市の現在の図書館ではなく、他市の図書館の平均値を含めたものです。基本設計図の床面積は、現時点でこの程度確保したということを表しています。

必要最小面積よりは大きい床面積を確保できています。

宮村委員 おおむね現在の図書館よりも大きいものとなると考えてよい  
か。

参事生課長 おおむね現在の図書館よりも大きくなります。

宮村委員 限られた予算や計画の中で、懸念することを2、3聴きたい。  
この資料の5ページの現在の図書館と比較して良好な図書館として  
ほしいと考えているが、おもてなしプラザ、交流プラザはどの  
ような形となるのか。緑あふれる良好な環境が望めるのか。是非  
良好な環境に向けて整えてほしい。

また、場所の制約から3～4階建にならざるを得ないと考える  
が、そうすると人の配置がこれから重要になってくる。図書館の  
運営が重要となるがこれはどこの場で検討していくのか。その点  
をどう考えているのか。

参事生課長 まず良好な環境につきましては、「にぎわい」という部分と本  
を読むための落ち着いた環境があり、それぞれの相反する部分を  
いかにうまく組み合わせるかになります。図書館にとっての良好  
な環境を担保いただくよう意見調整していきたいと思えます。

次に人員の問題ですが、階層が分かれるため、特に1階のメイ  
ンのカウンターでは、どういう形で人を配置するのか、明確な役  
割分担を考えていきます。図書館の管理運営の基本方針で在り方  
を決めていきます。基本的には直営を想定していますが、場合によ  
っては一部委託も視野に入れて検討していきます。

教育長 どういう場だという質問であったが、議論の中心は図書館整備  
推進委員会と考えてよいか。

参事生課長 図書館の管理運営は、まず図書館整備推進委員会の中で事務局  
案をお示しし、議論していきます。

宮村委員 総合案内もあり、かなりの人数が必要となるが、よほどの人的  
配置が必要と思われる。直営や委託という考えもあるが、当然ボ  
ランティアの活用も考えられる。このボランティア収納とは何な  
のか。

参事生課長 図書館ボランティアの活用については、育成も含めて大変重要

な問題です。ボランティアルームについては、開架と一体となったイメージのものです。このボランティア収納は、各ボランティアが活用する用具の収納スペースとなります。また、閲覧コーナーは、ボランティアの作業スペースとして活用ができます。

宮村委員 「良好な環境」が特に気になる。建物は経年劣化していくものであり、単なる箱モノになってはいけない。駅前の広場も含めて、再開発組合や関係部署に配慮をお願いしたい。

参事生課長 特に駅前の広場は再開発の中で整備していきます。現時点で具体的なプランはありませんが、是非こうしたいとの意見があれば開発整備の部署に伝えていきます。

宮村委員 各階で飲食スペースを設けるということか。

参事生課長 飲食は「館内のどこでも」と考え、必要に応じてスペースを整備していきます。

宮村委員 商業棟があつて荷物を持ってきた方が、ロッカーなどに荷物を置くところはあるのか。また、盗難対策はどのようになっているのか。

参事生課長 現時点でロッカーをどこに配置するのか決まっています。

図書は盗難防止システムとして、本にICタグを取り付けることを想定しています。アラームが鳴り、盗難防止できるシステムです。

教育長 市としては、図書館整備のPTは動き続けるようであるが、そこで教育委員会からも参事及び部長が意見を伝えていく予定である。

宮村委員 13ページの備蓄倉庫とは何を想定しているのか。

参事生課長 駅前に立地しているため、来館者が帰宅困難者となった場合の対応として図書館が災害拠点になる可能性を考えた備蓄となっています。この備蓄は、毛布や非常食になります。

宮村委員 駅前は、水害の危険があるが、地下の備蓄で大丈夫なのか。

参事生課長 図書館のエリアは浸水域からはずれていますので問題ないと考えています。

井上委員 基本理念に「ちまた」という言葉が使われている。設計コンセプトの中でこういった表現もなされている。前回は「ひと、もの、こと」と言う表現もあり、そこに意味があつたのではと考えている。「ちまた」の具体化が「ひと、もの、こと」であつたの



ではないか。事務局の思いが薄れているのではないか。結節地点「ターミナル」という言葉も使いたかったのではないか。

教育長 「ターミナル」という言葉も事務局案ではなかった。設計事務所の案である。また今後、図書館の愛称募集も考えられており、これらの表現が継続して全面に出ていくものではない。

参事生課長 あくまでも建物の設計のコンセプトであり、図書館全体のものではありません。設計するにはこのような考え方であると言うものです。図書館の基本理念や基本方針がより大切であると考えます。

教育長 詳細設計も含めて、らせん階段の部分が変わることもあるのか。

参事生課長 デザイン性や予算の問題などで変化することがあり得ます。中身はこれから変わるものと考えています。

教育長 これから詳細設計が進む中で各委員から意見をいただくことがあると思う。

井上委員 図書館を含めて亀山の文化について、市長部局の強い思いは感じられるのか。

参事生課長 当然図書館整備という大きなプロジェクトですので、市長部局と一体となって強い思いの中で進んでいます。

教育長 私も強い思いを感じている。

井上委員 是非とも図書館の充実発展に向けて進めていただきたい。

教育長 今後も順調に進めていただきたい。

(ほかに質問はなく、協議を終わる。)

## 7. 報告事項

教育長 報告事項1 「亀山市生涯学習推進会議委員の任命について」説明を求める。

(参事生課長詳細説明)

(質問はなく、報告を終わる。)

教育長 報告事項2 「亀山市図書館整備推進委員会委員の任命について」説明を求める。

(参事生課長詳細説明)

(質問はなく、報告を終わる。)

9. 閉会

午後4時40分